

まちなわだい

土屋さん夫妻「未来を担う

青年農林水産業者」で表彰

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰式

鳥取県では、県内の農林水産業の発展とその技術・経営の改善意欲の高揚を図るため、農林水産業の発展に功績のあった個人及び団体を表彰しています。



土屋俊和さん・夢子さんご夫妻

このたび、令和3年度の表彰式がとりぎん文化会館で10月19日（火）に行われ、岸本の土屋俊和さん・土屋夢子さん夫妻が「未来を担う青年農林水産業者」部門で表彰されました。

今年で就農11年目を迎える土屋さん夫妻は、就農当初はイチゴと葉牡丹苗を栽培し、6年目からはブドウ栽培に着手。主力作物のイチゴは、12月～5月まで約半年間にわたって安定して出荷できるような品種の選定を工夫。さらに今年度から新品种にも挑戦したり、アシストスーツを導入して軽労化を図ったりなど、意欲的な取り組みが評価されました。

シニア向けスマホ講座

総務省「デジタル活用支援推進事業」でシニア世代のデジタル活用推進

伯耆町とソフトバンク株式会社は10月21日（木）、スマートフォン（以下、スマホ）の基本操作などを無料で手ほどきする初心者向けスマホ講座をパルプラズオンで開催しました。

参加したのは、スマホを持っていない、使い方が分からないという町内の60～80代16人で、講師を務めるソフトバンクの社員2名に教わりながら、地図アプリやカメラ、QRコードの読み取りなどをスマホで体験しました。

参加者は「家に若い人がいないので、電話以外は使ったことがなかった。便利なお話が分かった」と話しました。

本講座は、デジタル活用に不安のある高齢者等に対し、無料でその利用方法を学べる講習会の開催を支援する、総務省の「デジタル活用支援推進事業」として行われました。



音声アシスタントを使った検索の方法を講師に教わる参加者

天まであがれ 手作り凧

親子で体験 凧作り・凧あげ教室

一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブは10月23日（土）、町内の園児・小学生対象の親子凧あげ教室を伯耆町総合スポーツ公園で開催しました。

参加した親子14組は、40畳の大凧揚げ大会を毎年行っている有志団体「米子福生凧会」メンバーに教わりながら、ビニール袋と竹ひごを使ったグニャグニャ凧とダイヤ凧作りに挑戦。子どもたちは凧型に切り取ったビニールに絵を描き、骨付けや糸を結び作業は大人が担当しました。

約1時間後、完成した凧を持ってグラウンドに出ると凧揚げにちょうどよい風が吹いており、子どもたちは大喜び。風向きを意識しながら走ったり、糸を伸ばして高く揚げたり、くるくる回ってうまく揚がらない凧に調整したりを何度も繰り返し、凧揚げを楽しんでいました。



竹ひごの骨付けを真剣に教わるお父さん



凧揚げを楽しむ参加者